

トゥルー・ヒストリー・オブ・ザ・ケリー・ギャング (2019)

TRUE HISTORY OF THE KELLY GANG

メディア 映画

ジャンル ドラマ 青春 犯罪

製作国 オーストラリア／イギリス／フランス

色彩 Color

時間 125分

初公開日 2021/06/18

公開情報 アット エンタテインメント

映倫 PG12

【キャッチコピー】

憧れの英雄か、国家を揺るがす反逆者か――

【解説】

義賊として今なお多くの人々を魅了し続ける19世紀のオーストラリアに実在した伝説のアウトロー、ネッド・ケリーを主人公にしたピーター・ケアリーのブッカー賞受賞作『ケリー・ギャングの真実の歴史』を、「わたしは生きていける」「1917 命をかけた伝令」のジョージ・マッケイ主演で映画化。差別がはびこる理不尽な世の中に反旗を翻し、腐敗した権力に立ち向かった一人の若者の生き様をパンク精神あふれる筆致で描き出す。共演はラッセル・クロウ、チャーリー・ハナム、ニコラス・ホルト、エシー・デイヴィス。監督は「マクベス」「アサシン クリッド」のジャスティン・カーゼル。

19世紀のオーストラリア。貧しいアイルランド移民の少年ネッド・ケリー。頼りにならない父親に代わり、家族を支えてきた彼だったが、やがて母親によって山賊のハリー・パワーに売り飛ばされてしまう。パワーの下でギャングに必要なことを仕込まれ、10代で逮捕・投獄されたケリー。出所後は、娼館で暮らすメアリーと恋に落ち、束の間の幸せを味わうが…。

【クレジット】

監督	ジャスティン・カーゼル	Justin Kurzel
製作	ポール・ランフォード	Paul Ranford
	ジャスティン・カーゼル	Justin Kurzel
	リズ・ワッツ	Liz Watts
	ハル・ヴォーゲル	Hal Vogel
製作総指揮	ショーン・グラント	Shaun Grant
	デヴィッド・グロス	David Gross
	ブラッド・ファインスタイン	Brad Feinstein
	ラファエル・パーチェット	Raphael Perchet
	ナイマ・アベド	Naima Abed
	エミリー・ジョルジュ	Emilie Georges
	サム・ラヴェンダー	Sam Lavender
	スー・ブルース＝スミス	Sue Bruce-Smith
	ダニエル・バトセク	Daniel Battsek
	ピーター・ケアリー	Peter Carey
	ヴィンセント・シーハン	Vincent Sheehan
デヴィッド・オーキン	David Aukin	

原作	ピーター・ケアリー	Peter Carey	
脚本	ショーン・グラント	Shaun Grant	
撮影	アリ・ウェグナー	Ari Wegner	
プロダクション デザイン	カレン・マーフィ	Karen Murphy	
衣装デザイン	アリス・バビッジ	Alice Babidge	
編集	ニック・フェントン	Nick Fenton	
音楽	ジェド・カーゼル	Jed Kurzel	
出演	ジョージ・マッケイ	George MacKay	ネッド・ケリー
	エシー・デイヴィス	Essie Davis	エレン・ケリー
	ニコラス・ホルト	Nicholas Hoult	フィッツパトリック
	オーランド・シュワート	Orlando Schwerdt	ネッド・ケリー（少年時代）
	トーマシン・マッケンジー	Thomasin McKenzie	メアリー・ハーン
	ショーン・キーナン	Sean Keenan	ジョー・バーン
	チャーリー・ハナム	Charlie Hunnam	オニール巡査
	ラッセル・クロウ	Russell Crowe	ハリー・パワー
	アール・ケイヴ	Earl Cave	